

決 算 期 3月31日
定 時 株 主 総 会 6月
利益配当金支払株主確定日 3月31日
中間配当金支払株主確定日 9月30日
一 単 元 の 株 式 数 100株
株 主 名 義 書 換
名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所 〒137-8081
(お問い合わせ先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 03(5683)5111(代表)
同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
上 場 証 券 取 引 所 東京・名古屋
ホームページアドレス <http://www.taihonet.co.jp/>



※この事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
総務部広報室／0565(28)2225

第98期 事業報告書

平成15年4月1日～平成16年3月31日

証券コード 6470



CONTENTS

- 株主の皆様へ
- 営業の概況
- 経営方針
- TAIHOの動き
- 製品のご紹介
- 海外展開
- 事業グループ
- 業績ハイライト
- セグメント情報(連結)
- 単独決算の概要
- 連結決算の概要
- 株式の概況
- 会社の概況
- 株主メモ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社の第98期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の営業の概況と決算の結果につきまして、ご報告申し上げます。
皆様には、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月



取締役社長
高橋 清八

営業の概況

当期のわが国経済は、米国経済の景気回復、株式市場の上昇を背景に企業業績の改善、民間設備投資の拡大など国内景気は回復基調にあるものの、雇用情勢や個人消費は依然として低水準に推移いたしました。

自動車業界におきましては、国内販売は、新型車投入による販売努力もあり、前期に比べ若干上回りました。また、四輪車全体の国内生産台数につきましては、欧州、アジア向けの輸出が増加したものの、北米向けの輸出が減少し、結果として、前期に比べ概ね横ばいとなりました。

このような情勢のなかで、当社は新中期経営計画(’03～’05年度)を策定し、次なる発展に向けてスタートいたしました。

当期の国内事業につきましては、昨年4月にホイールバランスウェイトメーカーの「ヤマテ工業株式会社」、11月にはバスケット専門メーカーの「日本バスケット株式会社」に資本参加し、関連会社としました。

また、幸海第2工場が昨年4月に完成し、ブシュ製品および精密電子部品の生産を開始いたしております。

海外事業につきましては、昨年7月に中国において「大豊工業(煙台)有限公司」による「煙台春生滑動軸承有限公司」の吸収合併を実施いたしました。

また、10月にASEANにおける第2の生産・販売拠点として、タイ国企業との合併で「タイハウ タイランド株式会社」を設立いたしました。

当期の業績につきましては、売上高は515億5千4百万円となり、前期に比べ12億7千5百万円(2.5%増)の増収となりました。

利益につきましては、年初より北米事業において多くの新製品立上げが重なったことによる生産準備不足等の原因で諸費用が発生したこと、SARS(重症急性呼吸器症候群)およびイラク戦争の影響で中近東およびアジア地域向けアフターマーケット用製品の販売が減少したこと等が重なり、営業利益は13億8千万円と前期に比べ15億1千9百万円(52.4%減)、経常利益は17億円と前期に比べ13億6千2百万円(44.5%減)、当期純利益は9億5千9百万円と前期に比べ6億7千9百万円(41.5%減)の大幅減益となりました。しかしながら、後半期にはグループを挙げて業績回復に取り組み、新製品立上り時の諸問題対応費用にも一応のめどが立つまでに対策を行ってまいりました。その結果、業績は大きく好転し、回復に向かいつつあります。

設備投資につきましては、新製品投資を重点に生産性向上のための合理化投資、基礎投資等を総額47億5千8百万円実施いたしました。これらに要した資金は、自己資金で充ちたしております。

資金調達につきましては、平成15年11月26日に第1回無担保社債(適格機関投資家限定)を発行し、総額50億円の資金を調達いたしました。

当期の配当金につきましては、すでに平成15年11月に中間配当金としまして、1株につき8円をお支払いしておりますが、期末配当金につきましても1株につき8円とさせていただきます。

今後の経済の見通しにつきましては、国内景気は回復基調を維持しながら推移すると思われます。

自動車業界におきましては、景気回復を受けて自動車販売の堅調な伸びが期待される一方、部品メーカーのグローバルな競争が一層進展していくものと思われます。

このような経営環境のなかで、新中期経営計画の方針は「“独自技術”と“信頼”により、大競争時代を勝ち抜く」とし、スローガンを「スピードと変革」といたしました。当社は「第3の道をめざす企業」(独自技術を持つ提案型の部品メーカー)として、世界の顧客および市場にとってなくてはならない信頼ある製品を創出し続けることによって発展してまいります。

当期におきまして利益面で一時的に大きく減少いたしました。全社を挙げて業績回復に取り組んでおり、今後は着実に収益向上を図り、より強固な収益基盤の構築を目指していく所存であります。

経営方針

わが社は時流に先んじ、合理主義に基づき
優れた製品をもって顧客の信頼に応える
——— 信頼の大豊 ———

中期(2003年度～2005年度)経営方針

“独自技術”と“信頼”により、大競争時代を勝ち抜く

中期達成目標

- 1. “環境”“安全”“品質”における業界 No.1 への挑戦
- 2. 一歩先を行く独自技術の開発と新製品の創出
- 3. 世界の顧客をターゲットとした戦略的営業の確立
- 4. 世界の競合メーカーを凌駕する、あらたな“モノづくり”の手法確立
- 5. 世界に通用する“人づくり”・“システムづくり”



2003.7

■大豊工業(煙台)有限公司が煙台春生滑動軸承有限公司を吸収合併

100%出資子会社「大豊工業(煙台)有限公司」(略称:TCY 中国山東省煙台)は、「煙台春生滑動軸承有限公司」(2002年10月当社が持分権100%購入)を吸収合併しました。

既に、「天津豊田汽車発動機有限公司」をはじめ日系の自動車合弁会社数社からも引き合いを受けており、2004年より現地生産のエンジンベアリングを納入する予定です。

将来的には、軸受材料から完成品加工までの一貫生産体制をつくり、生産量、販売高、収益性ともに中国NO.1のエンジン軸受メーカーをめざします。



大豊工業(煙台)有限公司

2003.10

■タイ現地法人 タイハウ タイランド 株式会社の設立

ASEANにおける第2の生産・販売拠点として、タイ国にタイ企業との合弁で新会社タイハウ タイランド株式会社(略称:TCT タイ国パトムタニ県)を設立しました。

設立の目的は、既設のインドネシア現地法人(PTN)との相互補完関係をつくり、ASEAN域内での生産・供給体制を強化することにあります。3年後を目処に売上を拡大して、新工場建設の計画を立てております。

新会社の当面の取り扱い品目は、ターボチャージャー部品、デファレンシャル部品、コンロッド用ブシュなどです。



タイハウ タイランド株式会社

2003.10

■フォルクスワーゲンから最高級車向けエンジンベアリングを初受注

ドイツ最大手自動車メーカーフォルクスワーゲン社(以下、VW社)より、最高級車向けエンジンベアリングを初めて受注しました。

採用されたのは、VW社の最高級車「フェートン」などに搭載されるW型12気筒、W型8気筒のガソリンエンジンで、当社はエンジンベアリングをドイツ ザルツギッター工場に納入しております。これは、当社の『鉛フリーエンジンベアリング』の性能が認められたもので、VW社より技術的に高い評価をいただいております。

これを機に、VW社の他機種への拡販を始め、欧州自動車メーカーへの拡販をめざします。

VW社に採用された
エンジンベアリング
RA520/SA250

2003.10

■日本ガasket株式会社と資本・業務提携

当社と日本ガasket株式会社は、両社の事業強化と成長を図るため資本・業務提携しました。

ガasket事業において、当社の軸受開発からガasket開発にいたる総合的な技術開発力と、1947年の創業時からガasket事業を推進している専門メーカーである日本ガasket株式会社の高い専門技術を生かし、NO.1総合ガasketメーカーグループとして競争力を高めます。

両社の海外生産拠点を相互に生かして世界4極生産・販売体制をつくり、今後ますますグローバル化する自動車エンジンの生産に、どこよりも早く対応できる体制を築くことで、さらなる発展をめざします。

2004.5

■鉛フリーエンジンベアリング トライボロジー学会技術賞受賞

当社の鉛フリーエンジンベアリングが日本トライボロジー学会より第48期日本トライボロジー学会技術賞を受賞しました。これはすべり軸受に有用な鉛(環境負荷物質)を廃し、従来の鉛入りを超えた高性能な軸受材料を開発した技術が認められたものです。

当社の鉛フリーエンジンベアリングは、これまでもさまざまな賞を受賞しており、今回で5つ目の受賞となり学術的、社会的に評価されています。

各賞受賞履歴

- 2002年2月
トヨタ自動車(株)より 技術開発賞
受賞名: **ディーゼルエンジン用高面圧軸受**
- 2002年5月
(社)トライボロジー学会より トライボロジー学会 技術賞
受賞名: **固体潤滑剤オーバーレイ**
- 2003年4月
(社)日本機械学会より 日本機械学会賞(技術)
受賞名: **高負荷エンジン用Pbフリー軸受**
- 2004年3月
日刊工業新聞社より モノづくり部品大賞 部品賞
受賞名: **鉛フリー高性能エンジン軸受**
- 2004年5月
(社)トライボロジー学会より トライボロジー学会 技術賞
受賞名: **高面圧ディーゼルエンジン用銅合金軸受材料**



一歩先を行く独自技術の開発と 新製品の創出

■エンジンベアリング

半世紀に及ぶトライボロジー（摩擦技術）の研究成果と材料からの一貫生産による高性能、高品質エンジンベアリングは世界中の自動車メーカーから高く評価されています。



とくに、世界に先駆け、開発・量産実用化に成功した「鉛フリーエンジンベアリング」は、次世代のベアリングとして注目を集めています。

■ブッシュ・ワッシャ

多様なニーズに応える豊富なバリエーション。高度な摩擦技術に基づき、さまざまな使用部位に応じた材料、形状をご提案。エンジンベアリング同様、鉛フリーブッシュのラインナップも充実しています。



■特殊軸受

カーエアコンの主流である斜板式コンプレッサーに使用される特殊軸受では、その性能の高さが認められ、グローバルスタンダード製品となっています。



■メタルガスケット

アルミ製シリンダヘッド用としては世界初の画期的な一層メタルヘッドガスケットなど、つねに新たなコンセプトによる製品づくりをめざし、市場の高い評価を得ています。



■EGRバルブ／アクチュエータ

過酷な環境下で確実な作動を要求されるEGRバルブやターボチャージャー用アクチュエータなど、摩擦技術の応用と高度な製造技術によって各種高性能部品を製造しています。



■電気電子部品

オートマチックトランスミッション用ソレノイドバルブの駆動部位であるコイルコアアッシーを生産。当社のコア技術であるすべり軸受を使用し、小型軽量かつ優れた樹脂成形技術により高い信頼性を確保しています。



■精密金型

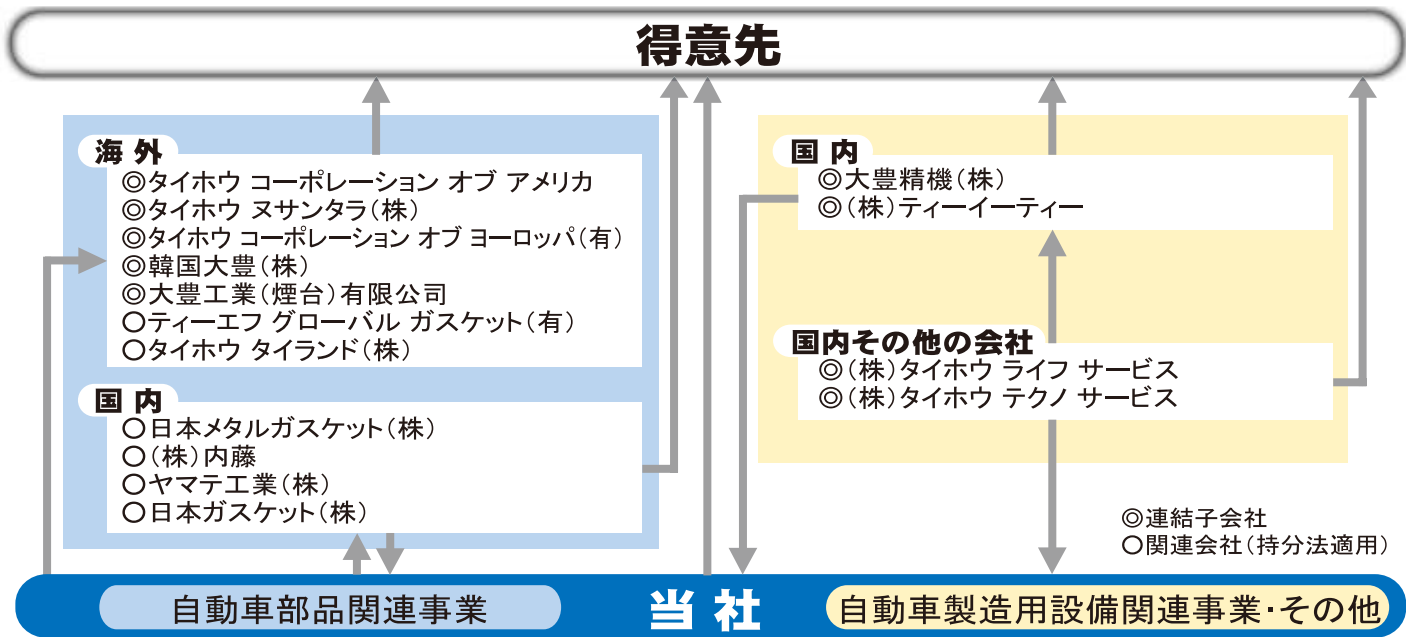
焼結型、精密鋳造型、精密プラスチック成型型など、多様な用途において極めて高精度を要求される精密金型を製造しています。



■アルミダイカスト製品

高精度、高強度、複雑形状など、これまでダイカストでは困難とされてきたさまざまな製品に挑戦し、その高度な技術力で付加価値の高い製品を生み出しています。





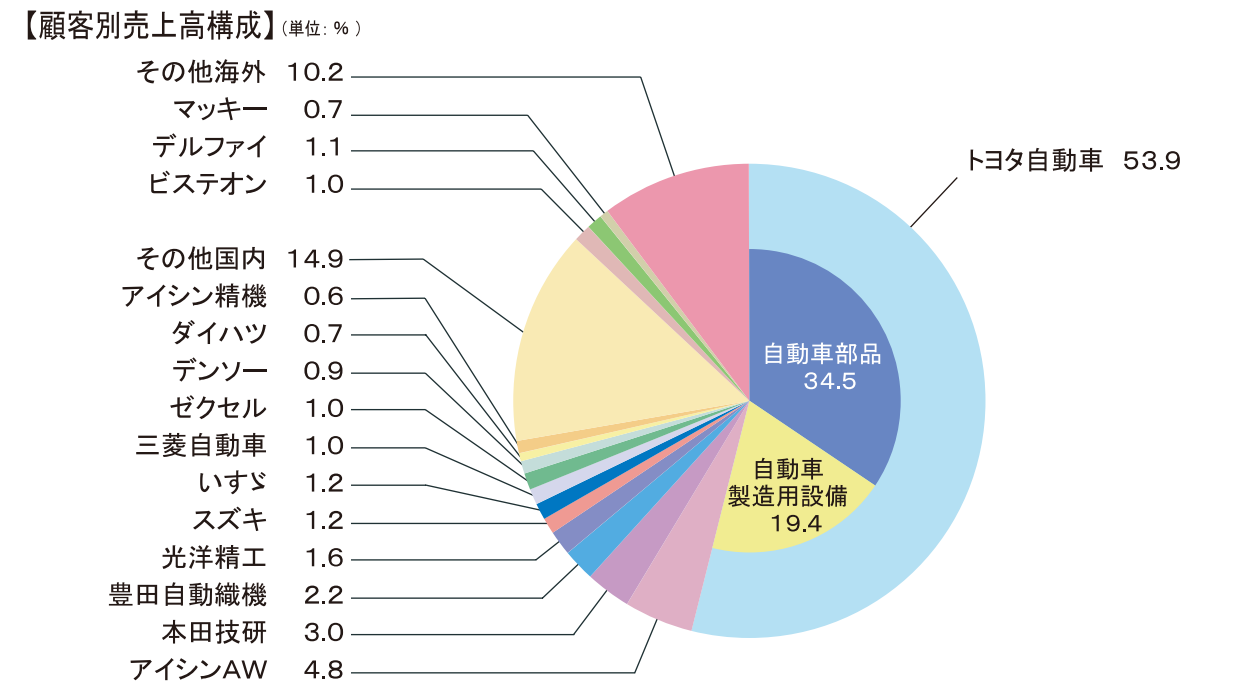
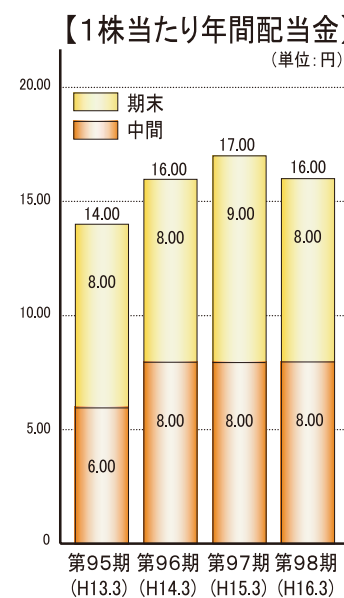
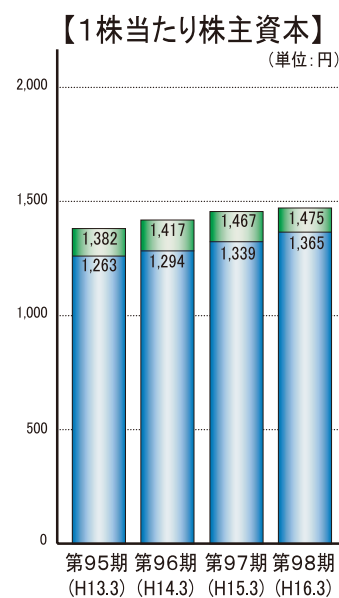
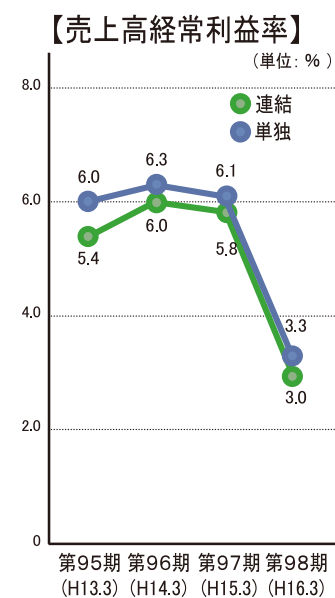
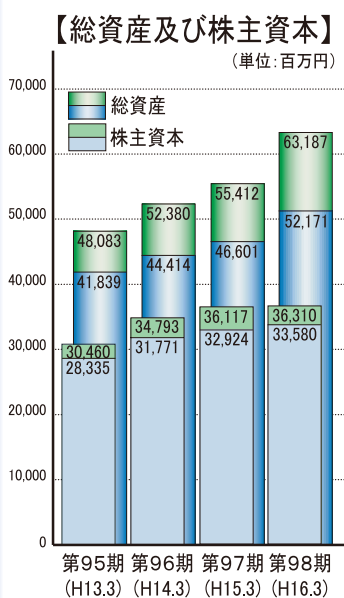
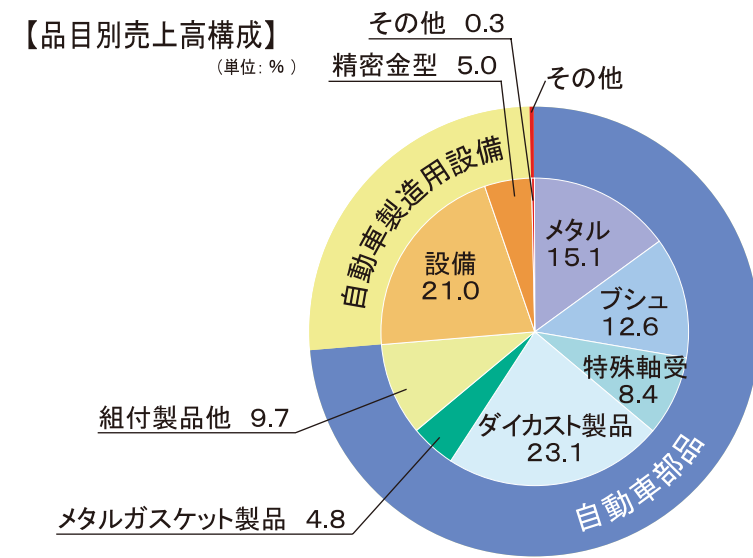
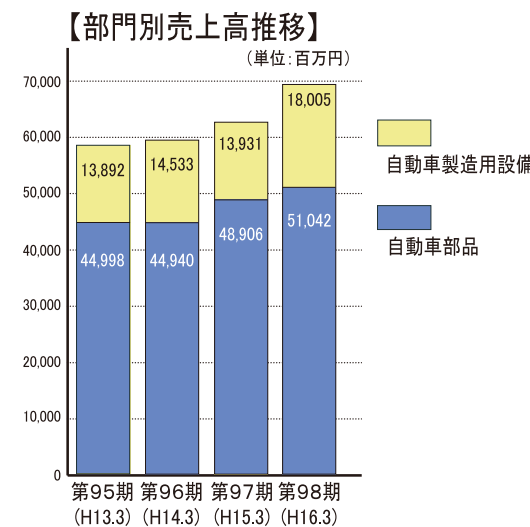
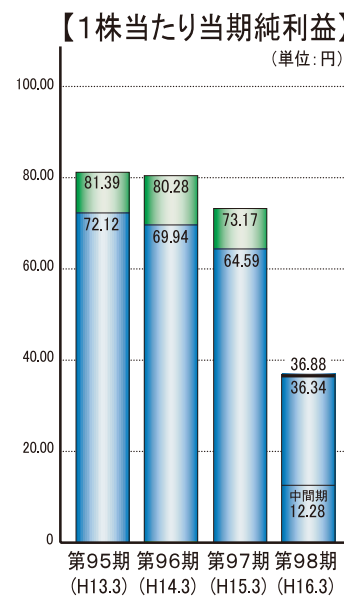
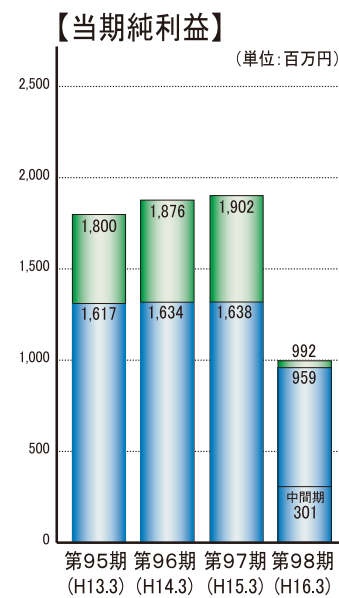
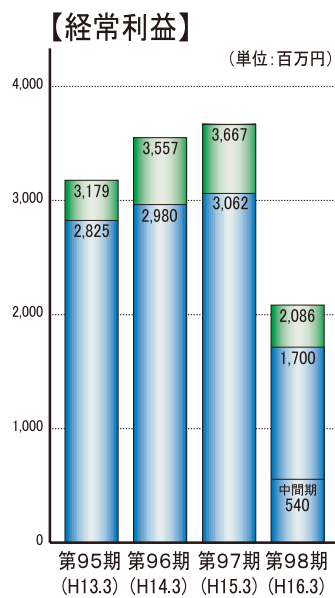
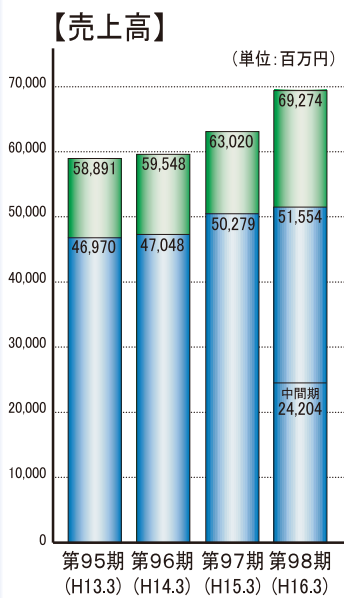
◎連結子会社の概要

名 称	所在地	資本金	主要な事業内容
大豊精機株式会社	愛知県豊田市	50百万円	自動車製造用設備関連事業
株式会社ティーイーティー	愛知県豊田市	75百万円	自動車製造用設備関連事業
株式会社タイホウ ライフ サービス	愛知県豊田市	20百万円	営繕、福利厚生事業
株式会社タイホウ テクノ サービス	愛知県豊田市	10百万円	工場運営、ライン改善指導
タイホウ コーポレーション オブ アメリカ	米国 オハイオ州	6,700千米ドル	自動車部品関連事業
タイホウ ヌサンタラ株式会社	インドネシア カラワン市	53,836百万ルピア	自動車部品関連事業
タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社	ハンガリー ウィハルチャン市	1,300百万フォリント	自動車部品関連事業
韓国大豊株式会社	韓国 大邱広域市	5,920百万ウォン	自動車部品関連事業
大豊工業(煙台)有限公司	中国 山東省煙台市	33,448千人民元	自動車部品関連事業

○持分法適用関連会社の概要

名 称	所在地	資本金	主要な事業内容
日本メタルガスケット株式会社	埼玉県熊谷市	201百万円	自動車部品関連事業
株式会社内藤	三重県三重郡	96百万円	自動車部品関連事業
ティーエフ グローバル ガスケット 有限会社	米国 テネシー州	2,706千米ドル	自動車部品関連事業
ヤマテ工業株式会社	埼玉県入間郡	98百万円	自動車部品関連事業
日本ガスケット株式会社	大阪府東大阪市	757百万円	自動車部品関連事業
タイホウ タイランド株式会社	タイ国 パトムタニ県	17,000千バーツ	自動車部品関連事業

■ 連結 ■ 単独



貸借対照表

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当 期	前 期
	H16.3.31現在	H15.3.31現在
【資産の部】		
流動資産	19,481	16,757
現金預金	2,943	3,521
受取手形及び売掛金	10,787	9,166
有価証券	1,362	963
たな卸資産	1,732	1,508
その他	2,654	1,597
固定資産	32,690	29,843
有形固定資産	21,896	20,919
建物	4,314	3,885
機械装置	9,839	9,109
土地	6,106	5,992
その他	1,635	1,932
無形固定資産	146	121
投資その他の資産	10,647	8,802
投資有価証券	3,699	1,747
子会社株式・出資金	5,294	5,090
その他	1,653	1,964
合 計	52,171	46,601

損益計算書

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当 期	前 期
	H15.4.1から H16.3.31まで	H14.4.1から H15.3.31まで
売上高	51,554	50,279
売上原価	44,398	41,743
販売費及び一般管理費	5,775	5,635
営業利益	1,380	2,899
営業外収益	539	396
営業外費用	219	233
経常利益	1,700	3,062
特別利益	1	2
特別損失	16	123
税引前当期純利益	1,685	2,941
法人税、住民税及び事業税	638	1,472
法人税等調整額	88	△ 169
当期純利益	959	1,638
前期繰越利益	419	406
中間配当額	196	196
当期末処分利益	1,182	1,849

科 目	当 期	前 期
	H16.3.31現在	H15.3.31現在
【負債の部】		
流動負債	10,218	9,979
支払手形及び買掛金	6,058	5,061
未払金	850	1,340
未払費用	2,618	2,447
その他	690	1,130
固定負債	8,372	3,697
社債	5,000	—
退職給付引当金	3,271	3,528
その他	101	169
負債計	18,590	13,676
【資本の部】		
資本金	5,726	5,726
資本剰余金	6,324	6,324
利益剰余金	21,603	21,115
評価差額金	294	136
自己株式	△ 368	△ 377
資本計	33,580	32,924
合 計	52,171	46,601

利益処分

単位: 円

科 目	当 期	前 期
当期末処分利益	1,182,542,268	1,849,034,563
特別償却準備金取崩額	5,380,935	4,990,383
合 計	1,187,923,203	1,854,024,946
これを下記のとおり処分いたします。		
株主配当金	196,393,224 (1株につき8円)	220,858,011 (1株につき9円)
取締役賞与金	44,269,000	42,740,000
監査役賞与金	9,734,000	10,700,000
特別償却準備金繰入額	37,107,190	—
別途積立金	480,000,000	1,160,000,000
次期繰越利益	420,419,789	419,726,935

(注)平成15年11月26日に1株につき8円
(総額196,395,056円)の中間配当を実施いたしました。

連結貸借対照表

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当 期	前 期
	H16.3.31現在	H15.3.31現在
【資産の部】		
流動資産	27,221	22,542
現金預金	5,240	5,704
受取手形及び売掛金	14,827	11,466
有価証券	1,367	973
たな卸資産	3,699	2,727
その他	2,086	1,670
固定資産	35,966	32,870
有形固定資産	29,395	28,052
無形固定資産	708	777
投資その他の資産	5,862	4,040
合 計	63,187	55,412

連結損益計算書

単位: 百万円(百万円未満切捨て)

科 目	当 期	前 期
	H15.4.1から H16.3.31まで	H14.4.1から H15.3.31まで
売上高	69,274	63,020
売上原価	59,500	52,212
販売費及び一般管理費	7,797	7,103
営業利益	1,975	3,704
営業外収益	397	216
営業外費用	286	253
経常利益	2,086	3,667
特別利益	2	2
特別損失	18	140
税金等調整前当期純利益	2,070	3,529
法人税、住民税及び事業税	992	1,757
法人税等調整額	△ 10	△ 184
少数株主利益	96	53
当期純利益	992	1,902

科 目	当 期	前 期
	H16.3.31現在	H15.3.31現在
【負債の部】		
流動負債	16,690	13,809
固定負債	9,211	4,590
社債	5,000	—
退職給付引当金	3,414	3,651
その他	796	938
負債計	25,901	
【少数株主持分】		
少数株主持分	975	895
【資本の部】		
資本金	5,726	5,726
資本剰余金	6,324	6,324
利益剰余金	24,318	23,880
評価差額金	337	133
為替換算調整勘定	△ 27	430
自己株式	△ 368	△ 377
資本計	36,310	36,117
合 計	63,187	55,412

■ 会社が発行する株式の総数	48,400,000株
■ 発行済株式総数	24,931,000株
■ 株主数	5,755名
■ 大株主 (上位10名)	

	持株数 (千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	721
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	669
大豊工業従業員持株会	406
野々山秀夫	305
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	304
柴田幸子	256
多田勝美	200

注) 当社は自己株式381千株 (ストックオプション制度に基づく自己株式379千株を含む) を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記の大株主から除いております。

■ 株主の地域別分布	
------------	--



■ 会社概要	
創 業	昭和19年1月
資 本 金	57億2千6百万円
従業員数	1,423名
事業内容	軸受製品、ダイカスト製品、ガasket製品 組付製品他、精密金型 上記製品の製造および販売

■ 事業所および営業所	(平成16年6月22日現在)
● 本社 / 本社工場	〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
● 技術本館 / 細谷工場	〒471-8502 愛知県豊田市細谷町2-47
● 篠原工場 (愛知県豊田市)	
● 九州工場 / 九州営業所 (鹿児島県出水市)	
● 春日井工場 (愛知県春日井市)	
● 幸海工場 (愛知県豊田市)	
● 岡崎工場 (愛知県岡崎市)	
○ 東京営業所 (東京都港区)	
○ 大阪営業所 (大阪市淀川区)	
○ 静岡営業所 (静岡県掛川市)	
○ 松本営業所 (長野県松本市)	
★ デュッセルドルフ事務所 (ドイツ)	

■ 子 会 社	
大豊精機株式会社	
株式会社ティーイーティー	
株式会社タイホウライフサービス	
株式会社タイホウテクノサービス	
タイホウ コーポレーション オブ アメリカ	
タイホウ ヌサントラ株式会社	
タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ有限公司	
韓国大豊株式会社	
大豊工業 (煙台) 有限公司	

■ 関 連 会 社	
日本メタルガasket株式会社	
株式会社内藤	
ヤマテ工業株式会社	
日本ガasket株式会社	
ティーエフ グローバル ガasket 有限公司	
タイホウ タイランド 株式会社	

■ 役 員	(平成16年6月22日現在)
取締役社長	高 橋 清 八
専務取締役	福 田 孝
専務取締役	河 合 弘 義
常務取締役	近 藤 孝
常務取締役	村 木 武
常務取締役	天 野 利 紀
取締役 (常務待遇)	能 瀬 嘉 則
取 締 役	斎 藤 和 幸
取 締 役	野々山 秀 夫
取 締 役	熊 田 喜 生
取 締 役	柴 田 和 敏
取 締 役	野 村 義 則
取 締 役	山 崎 謙 一
取 締 役	近 藤 隆 彦
取 締 役	末 田 満
常勤監査役	篠 田 進 弥
常勤監査役	加 藤 博 光
監 査 役	二 橋 岩 雄
監 査 役	伊 藤 英 成